## 転倒・転落あるある事例集





## 発刊にあたって



足利赤十字病院 टまつもと さとる 院長 小松本 悟

患者安全を考える上で、転倒・転落発生率や転倒・転落による損傷発生率を低下させるための取り組みは、どの医療施設においても行われていることと思います。予防策を講じ、その結果を発生率等として可視化し、改善活動を継続することが重要です。

当院の場合、2015年2月にJCI(Joint Commission International /国際的な病院機能評価)の認証取得をいたしましたが、転倒・転落のリスクを軽減する取り組みに関しては、IPSG.6(International Patient Safety Goal.6/国際的患者安全目標の6)として、重要審査項目の1つとなっています。その中では、病院内の全ての患者に対しリスクの評価を行い、措置を講じることが求められています。転倒・転落リスクの軽減は、世界的に見ても重要とされていることが分かります。

また、転倒・転落が入院患者のみならず外来患者に、院内のどこにおいても、いろいろな場面で起こり得ることを再認識する必要があります。 医療施設に勤める全ての職員は、患者に注意を向け、転倒・転落を防ぐといった活動を多職種と連携しながら行うことが患者安全に繋がると考えます。

本事例集は、あらゆる場面における転倒・転落事例を挙げております。 様々な職種の方々にご覧いただき、多職種連携による転倒・転落対策の 一翼を担うツールとして活用されることを願います。

#### 事例集の活用について

#### 相澤 香代子 (足利赤十字病院 医療安全推進室 医療安全管理者 看護師長)

「転倒・転落」は、病院内で起こるインシデント・アクシデントの中でも「薬剤」に次いで多く、病院内のどこかで毎日誰かが転倒しているといっても過言ではありません。どこの病院でも、患者さんの「転倒・転落」リスクを評価し、未然に防ぐとともに、被害を最小限にする予防・対策に努めています。

それでも、「転倒・転落」を0にすることはできません。

院内で「転倒・転落」した患者さんの中には、「大丈夫だと思った」「まさかあの人が転ぶとは思わなかった」という声も多く聞かれます。今回事例集を作るに当たり収集した事例の中には、こういう場面が『あるある』という言葉が多く聞かれました。

患者さんはどんな時に転びやすいのか、看護師をはじめとした医療スタッフは今までの経験から学んでいます。この事例集にはそのような情報を多く収録しました。また、過去に経験した事例だけでなく、様々な施設でこういうこともあるかもしれないという、予測される事例も盛り込んでいます。

この事例集では場面に沿って、こんな時に「転倒・転落」が起きたことをまとめています。 その場面をイメージしやすいようにイラストにして、説明となるポイントを入れています。中 には、『えっ!こんなことで?』な場面も含まれています。患者さんはいつ転ぶか分からない という視点で、イラストの中で注意点を含めてポイント解説しています。

ベッドサイドで患者さんに一言注意の声かけをする、車椅子やポータブルトイレ、点滴台の 置く位置を工夫する等ちょっとした気遣いが「転倒・転落」を防ぐことにつながります。

病院施設で働く職員をはじめ、新人や学生にも『こんな時に患者さんは転ぶことがある』ことを共通認識し、未然に防止できるよう対策に活かしていただきたいと思います。

#### 目次

テーマ		ページ
1.病室内		- 5
2.歩行(自立)		- 11
歩行(杖)		- 14
歩行(松葉杖)		- 15
步行(步行器)		- 17
3.排泄(トイレ)		- 18
排泄(ポータブル	<i>)</i> ) ———	- 20
4.車いす(移乗)		- 21
車いす(操作)		- 23
5.リハビリテーション	·/	- 24
6.看護援助 ——		- 31
7.検査(移動·移乗)		- 34

#### 1.床に落ちたリモコン(ベッド下の尿器等)を拾おうとして転落する







リモコンを取ろうとして手 を伸ばすが



体がベッドからのり出し



転落する

#### ポイント

普段使用するものは手の届 く場所にまとめておくよう説明 しましょう。紐などで結んでおく ことでも落下防止になります。

v	۵	m	$\sim$	٠
٠,	C	11	ıU	٠

#### 2.床頭台から物を取ろうとして転落する







取ろうとして手を伸ばす



体がベッドからのり出して



転落する

普段使用するものは手の届 く場所にまとめておくよう説明 しましょう。

#### Memo:

#### 3.端座位で床の物を取ろうとして転落する



ベッド端座位にいて床 の物に気がつく



取ろうと手を伸ばす



物を取れないまま体を伸 ばしすぎて



そのまま転落する

#### 無理な姿勢をすることで転 倒につながります。不安を感じ た場合はいつでも看護師を呼 ぶよう説明しましょう。

#### Memo:

#### 4.輸液ポンプのコード等に足を引っかけて転倒する



端座位から



立ち上がるが



輸液ポンプの電源コー ドに足を引っかけ



転倒する

ベッド周囲のコードの整理を するなど環境整備に努めま しょう。柵に寝衣がつながるこ ともあるので体に適したサイズ を着用するよう指導しましょう。

#### Memo:

#### 5.ベッドから立ち上がり時、貧血で転倒する



端座位から



立ち上がるが



貧血で



転倒する

薬剤や疾患の影響で生じる 事例です。めまいがある時は 治まるまで動かない、看護師 を呼ぶなどの患者指導をしま しょう。

#### 6.ベッドサイドで着替え中に転倒する







片脚にズボンを履いた時 にふらついて

あれぇ



そのまま転倒する

#### ポイント

更衣時は姿勢が不安定に なりやすいので、座って行うなど 安定して行える工夫をしましょ う。チューブなどがある場合は 看護師が介助しましょう。

Memo:

#### 7.病室内で物を取りに行こうと/カーテンを閉めようとして転倒する







①物を取りに



②カーテンを閉めに



歩き始めたら足がもつ れて転倒する

慣れない環境では転倒リス クが高まります。スリッパではな く履きなれた靴を用意してもら うなど普段の生活に近づける 工夫をしましょう。

Memo:

#### 8.カーテンをつかんで、バランスを崩して転倒する



カーテンにつかまり立ち している



体がふらつき



カーテンでは体を支えき



カーテンをつかんだまま 転倒する

カーテンはつかまり立ちには 適しません。固定されたものを 支えにするよう患者指導も大 切です。

Memo:

#### 9.オーバーテーブルに手をついたらテーブルが動いて転倒する



ベッドサイドにいる



テーブルに手をついたが



テーブルが動いて



転倒する

オーバーテーブルにはキャス ターが付いているものが多いの で、患者さんへ動いてしまうこ とを事前に説明しておきましょ う。

Memo:

#### 10.ベッド柵をつかみそこねて転倒する



ベッドに戻ろうと



柵をつかんで体の向き を変えようとするが



つかめない/つかみそこ ねて



バランスを崩して転倒す

つ一つの動作をゆっくり確 実に行うよう指導しましょう。

Memo:

#### 11.床頭台の物を取ろうとしゃがみ込んだら転倒する



ベッドから出て



下の物を取ろうとしゃが むが



バランスが崩れ



しりもちをつく

#### ポイント

不安定な姿勢は転倒の危険性があります。よく使うものは取り出しやすい位置に置くよう患者さんに説明しましょう。

#### 12.棚上の物を取ろうとして転倒する



ベッドから出て



棚上の物を取ろうと体を 伸ばすが



体が反り過ぎて



転倒する

不安定な姿勢は転倒の危険性があります。よく使うものは取り出しやすい位置に置き、高い位置のものを取る際は看護師を呼ぶよう説明しましょう。

Memo:

#### 13.ベッドに浅く座ってしまい滑って転落する



ベッドに戻るが



浅く座ってしまい



腰がベッドから



滑り落ちてしまう

ベッドの高さは患者さんに適切な高さに設定しましょう。

#### Memo:

#### 14.キャスター付のイスに座ろうとしたら転倒する



キャスター付のイスに着 座する



深くイスに座りすぎて



イスが動き出してしまい



バランス取れず後方へ 転倒する

キャスター付きの椅子は危険です。患者さんにはキャスター付きでない椅子の使用や動くことを事前に説明しておきましょう。

Men	no
-----	----

#### 15.睡眠中の寝返りでベッドから転落する



ベッドに寝ていて



寝返りを打つが



動きが激しくなり



寝返りしたとたんに転 落してしまう

頭側の柵(2点柵)を取り付けておくだけでも転落の防止ができます。

Memo:				

#### 16.ベッドから点滴台をつかんで立ち上がるが、転倒する



ベッドから立ち上がろう



点滴台をつかんで立 ち上がるが



点滴台が動き出し/ つかみそこね



バランスを崩して転倒 する

#### ポイント

点滴台はキャスター付きなので不安定なことを説明しておきましょう。

#### Memo:

#### 17.点滴台がカーテンに引っかかり転倒する



点滴台を使って歩行



点滴台がカーテンに 引っかかり



点滴台が倒れて



点滴台と一緒に転倒

スクリーンカーテンの網の部分に注意が必要です。点滴台のフックが網目に引っかかることがあります。

Memo:

#### 18.シャワー浴で転倒する



シャワー浴中



タオル等を落として



拾おうとしゃがむが



滑って転倒する

浴室はすべりやすく、物を取ろうとしただけでも転倒する可能性があります。 シャワーチェアの利用や介助も検討しましょう。

ı	М	е	m	n	

#### 19.利尿剤で頻尿となり、トイレへ往復中に転倒する



利尿剤を服薬中



頻尿のため



何度も起き上がり、トイレへ往復中に



転倒してしまう

急ぐことや移動回数が多いことで転倒リスクは高まります。 必要時ポータブルトイレや尿器の設置も検討しましょう。

N A		~	_	
М	eı	П	υ	

#### 20.睡眠安定剤による影響で転倒する



睡眠安定剤を服薬して就寝中



効き目が残っており



起き出して離床する がふらついて



転倒する

安定剤を内服することで転倒リスクが高まることや、ゆっくり動くなど注意点を伝える患者指導も大切です。

Mem	10:																							
		 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 21.個室で不穏になり転落した





個室でひとり

不穏になり

ベッドから出ようとして転

#### 22.体動が激しく、ベッド柵が外れて転落する







体動が激しく

ベッド柵が外れてしまい

ベッドから転落する

#### 23.ベッド柵を外し、離床しようとして転落する









ベッドに寝ている

柵を外し

ベッドから出ようとして

転落してしまう

Memo:

の検討も必要です。

#### 24.抑制された腕を支点に、体が回転して転落する









体をベッドから乗り出し

腕を残して体が転落

ナースステーションに近い部 屋の検討や体動がある患者 さんには4点柵の検討も必要 です。

ポイント

ベッドの高さを一番低くして おくことも転落時のリスクを軽 減できます。またせん妄時は ナースステーションに近い部屋

ベッドと柵を固定するなど柵 がとれない工夫をしましょう。

柵を取れないようにベッドと柵 を固定したり、また柵を乗り越 える可能性がある場合はあえ て3点柵にしておくのもよいで しょう。離床センサー等の使用

の検討も必要です。

Memo:

Memo:

#### 25. すり抜けの秘技



体幹抑制/4点柵 で固定



すり抜けの秘技?



抑制すり抜け、柵を 乗り越え



転倒してしまう

体幹ベルトを使用していても、 転倒の危険はあるので、こまめ な観察が必要です。転倒時の リスク軽減に緩衝マットの使用 も有効です。

Memo:						
	 	 	 	 	 	 -

#### 26.ギャッジベッドに(頭、手、足)が挟まる



ベッドリモコンがベッド 上にある



体交の時足がJモコン に触れる



体でリモコンを押し続 けてしまい



出た手が柵とベッドに 挟まる

#### ポイント

ベッドのリモコンは不意に動かないように柵の外側に設置しましょう。ベッドを上げる際は手足が柵から出ていないか確認しましょう。

#### 27.ベッド柵に挟まる



ベッドから出ようとして



柵から身を乗り出す



柵の間に挟まり



そのまま動けなくなる

ベッドにあった適切な柵を使用しましょう。 柵の隙間を埋める工夫をしましょう。

#### Memo:

#### 28.ギャッジベッドに挟まる



ギャッジベッドリモコンが ベッド上にあり



体交の時に



操作器が体に当たり



ベッドに挟まる

病院で使用されているベッドの操作確認をしておきましょう。 またベッドのリモコンは不意に 動かないように柵の外側に設 置しましょう。

※最近のベッドは安全装置があります。

М	ρ	m	n

-----

## 2. 歩行(自立)

#### 1.歩行中スリッパが滑り、脱げてしまい転倒する









ポイント

スリッパは脱げやすく歩行が 安定しません。踵のついた履 物にするよう説明しましょう。

Memo:

Memo:

Memo:

Memo:

スリッパで歩行中

スリッパが滑って

脱げてしまい

転倒する

#### 2.歩行中につまずいてバランスを崩し転倒する









筋力低下が疑われる時は歩行補助具の検討をしましょう。 床面の変わり目は注意が必要です(タイル、マット、絨毯、点字ブロックなど)。

歩行中

つまずいて

バランスを崩し

転倒する

#### 3.歩行中に物を拾おうとして転倒する









は転倒のきっかけになるので注 意するよう患者さんへ説明しま しょう。

歩行中の急な姿勢の変更

廊下を歩行中

落ちている物を拾おう

前屈みになり

バランスを崩して転倒

#### 4.疾患による小刻みな歩行で転倒する









疾患の特性や身体機能の 把握をしましょう。不安定な場 合は歩行補助具や監視で対 応しましょう。

歩行中

小刻みな歩行で

つまずいてしまい

転倒する

#### 5.筋力低下/麻痺で転倒・転落時に手で体を支えきれない











顔面/頭部から転 倒・転落する

筋力低下、麻痺などでふら つく時は歩行補助具や監視 で対応しましょう。歩行状態 の把握は重要です。

倒れかかるが

筋力低下/麻痺/ 硬直・拘縮で腕が先 に出せず

Memo:

## 2. 歩行(自立)

#### 6.両手がふさがり転倒する



洗濯をしようと病室を出る



両手に洗濯物を持っ ていたら



脚がつまずき体がふら ついて転倒し



顔面・頭部から床に 激突

#### ポイント

両手がふさがっていると、転 倒の際体を守れないためこの ような患者さんを見かけたら注 意しましょう。

Memo:

#### 7.点滴台がベッドにぶつかり点滴台ごと転倒する



点滴台をつかんで歩行中



点滴台がベッドに当たり



点滴台が傾いた勢い



バランスを崩して転倒

ベッド周囲の環境整備をしましょう。 点滴台の持ち手の 高さを腰の部分に合わせま しょう。

Memo:

#### 8.酸素ボンベが人に当たって、転倒させてしまう



酸素ボンベをつかんで 歩行中



酸素ボンベが人に当たって



転倒させてしまう

酸素ボンベのキャスターの動作と移動範囲を理解し周りへ配慮できるよう指導しましょう。

Memo:

#### 9.横から出てきた人を無理に避けようとし転倒する



手すりを使って歩行



横から人が出てきて



避けようとするが 足がもつれて



転倒する

曲がり角は死角になりやすく、 急に人が出てくる可能性があ ります。注意するよう患者さん へ説明しておきましょう。

Memo:

#### 10.患児が廊下で突然走り出して転倒する



患児が看護師と遊んでいる



家族を見つけ



突然走り出し



転倒する

子供は周囲の危険に注意が はらえません。周囲の人が注 意してあげましょう。

Memo	
1,161110	

## 2. 歩行(自立)

#### 11.途切れた次の手すりをつかめずに転倒する



手すりをつかんで歩行







手を伸ばすが



つかむ前にバランスを 崩し転倒する

#### ポイント

歩行が安定しない患者さ んには歩行器などの補助具の 検討をしましょう。

#### 12.手すりをつかめずバランスを崩して転倒する

手すりが途切れたので







手すりをつかみながら歩

手すりをつかむ手の力が

滑って転倒する

手すりをつかんでいてもふらつ く患者さんは歩行補助具の検 討や監視で対応しましょう。

#### Memo:

Memo:

#### 13.方向転換しようとしてバランスを崩し転倒する





方向転換しようとして



を崩して



転倒する

急な方向転換はバランスを 崩しやすいため一気に回らず ゆっくりと方向転換するように 指導することも必要です。

Memo:										
	 	 	 	 -	-	 -	-	-	-	-

## 2. 歩行(杖)

#### 1. T字杖が床面で滑って転倒する



T字杖を使って歩行



T字杖が床面で滑っ



バランスを崩して



前のめりに転倒する

#### ポイント

杖先のゴムの劣化や水滴などが原因で滑りやすくなります。 杖の先端部分の点検もするように指導しましょう。

M	le	m	lC	)

#### 2.T字杖が床面に引っかかり転倒する



T字杖を使って 歩行中



T字杖をつくが



T字杖の先が引っか



バランスを崩して転倒

床面がタイルから絨毯に変わったり床の材質に変化のある所では転倒しやすいことを伝えておきましょう。

Memo:

#### 3.床に落としたT字杖を拾おうとして前のめりに転倒する



床のT字杖を拾おう とする



体を曲げて手を伸ば



T字杖をつかむ前に バランスを崩す



前のめりに転倒する

姿勢の急な変化はバランス を崩して転倒しやすくなります。 ゆっくりとした動作で行うように しましょう。

Memo:

#### 4.立て掛けたT字杖が倒れ出したので、取ろうとして転倒する



T字杖を壁などに立 て掛ける



立て掛けたT字杖が滑り出す



T字杖を取ろうとして 手を伸ばす



T字杖を取れずにそ のまま転倒する

T字杖の転倒を防止する 器具の利用を勧めましょう。

Memo:

#### 5.杖を取ろうとして、遠くてつかめず転倒する



T字杖を取ろうとする



手を伸ばすが



届かず



転倒する

T字杖までの移動でふらついてしまう場合は他の補助具の検討も必要です。また、T字杖は極力近くに置くように説明しましょう。

Me	emo	ס:																							
		-	 	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 2. 歩行(松葉杖)

#### 1.立ち上がり時に、バランスを崩して転倒する



ベッドから松葉杖で





松葉杖が脇に当たり



後ろ向きに転倒する

Memo:

Memo:

#### ポイント

起立時は脇から松葉杖を抜 いた状態で立ち上がるよう指 導しましょう。

#### 2.ベッドに着座しようとしてバランス崩し転倒する

立ち上る途中に









バランスを崩して転倒

向きを変えてからベッド柵を つかみ着座するよう指導しま しょう。

松葉杖を使って歩行

ベッドへ着座しようと 柵をつかむが

体の向きを変える途

#### 3.脇から腋下パッドが抜けて 、バランスを崩して転倒する







しりもちをつく

脇をしめて松葉杖を使用す るよう指導しましょう。

#### 松葉杖で歩行中

バランスを崩して

#### 4.松葉杖の先が椅子の脚に当たり、バランスを崩して転倒する



松葉杖で歩行中に





転倒する

松葉杖は歩行時半円を描 くように使用するため、空間を 大きく使用します。幅の狭い 廊下などでは転倒リスクが高 まります。環境整備をしておき ましょう。

Mem	0

#### の脚に当たり 5.階段昇降中にバランスを崩して座り込む







階段を降りようとする



体のバランスがうまく取 れず



階段に座り込んでしま

1人での階段昇降を実施 できるか評価し指導を行いま しょう。

Memo:					
	 	 	 	 	 -

## 2. 歩行(松葉杖)

#### 6.開けたドアの勢いでバランスを崩して転倒する



松葉杖で歩行中

ドアを開ける

ドアを開けた勢いで後ろ へ転倒

#### 7.ドアを開けようとし松葉杖が外れ、バランスを崩して転倒する



松葉杖歩行中にドア を開けようとするが

松葉杖が体から外 れ転倒する

#### ポイント

ドアを開ける時の立ち位置 (扉の可動範囲)を考慮する よう指導しましょう。

Memo:	
	脇をしめて松葉杖を使用 るよう指導しましょう。
Memo:	

## 2. 歩行(歩行器)

#### 1.歩行器で歩き始めようとしてバランスを崩して転倒する









#### 歩き始めようとして

歩行器をつかんだが

動き出し

バランスを崩して転倒

#### 2.歩行器で歩行中に他の患者に当たって転倒する







歩行器で歩行してい

歩行器に人が当たり

勢いで転倒する

#### 3.歩行器が足にひっかかり転倒する







歩行器で歩行中

歩行器の足がひっか

歩行器ごと転倒する

#### 4.ピックアップ歩行器の持ち上げ方が弱く、歩行器ごと転倒する







持ち上げ方が弱く



前脚が床に引っかかり



そのまま一緒に前のめ りに転倒する

#### ポイント

ブレーキ付歩行器の検討を しましょう。歩行器を置く位置 を検討しましょう。

M	er	n	1	•
	$\sim$		v	

足元でなく、周囲を見ながら 歩くように指導しましょう。

M	P	m	1	1

歩行器の高さを患者さんに 合わせましょう。U字型歩行器 ならば立位時の肘の高さが目 安です。

Μ	ei	m	0

ピックアップ歩行器は両腕の 筋力と立位保持の能力が必 要です。腕の筋力が弱い場 合は補助具を見直しましょう。

Ме	m	10	:								
	-	-		 -	_	-	_	-	_	-	

## 3. 排泄(トイレ)

#### 1.手すりを動かそうとした勢いで転倒する



便座に着座しようとす



手すりが上がっていた ので



手すりを下げたら、簡 単に下がり



勢いで転倒する

#### ポイント

事前に看護師と一緒に動 作確認をしておきましょう。

#### Memo:

#### 2.手すりをつかむが体を支えきれず転倒する



便座に着座しようとする



手すりをつかんでも体 を支えきれず



前屈みに転倒する

#### 前屈姿勢での着座は転倒 しやすいので移動方法を患者 さんへ指導しましょう。

#### Memo:

#### 3.トイレから立ち上がり時に、壁と便器の間に挟まる



トルに着座している



手すりをつかんで立 ち上がるが、



力がうまく入らず



便器と壁の間には まり込む

## 離床始めたばかりの方や移動に不慣れの方は看護師が付き添いましょう。また移動方法の指導をしましょう。

#### Memo:

#### 4.手すりをつかみきれず/体を支えきれずに転倒する



車いすからトイレへ移 乗しようとして



手すりをつかんで立 ち上がるが



腕の力がなく/足の力がなく



手が滑りバランスを崩 して転倒する

離床始めたばかりの方や移動に不慣れの方は看護師が付き添いましょう。また移動方法の指導をしましょう。

N A		~	_	
М	eı	П	υ	

#### 5.便座で座り直したら、便座から転落する



便座に着座したが



着座位置がずれたた



座り直そうとしたら



バランスが崩れて前に 転倒する

便器の両側に手すりがないと座位姿勢が不安定になります。 手すりの設置の検討や患者の側を離れないようにしましょう。

Memo:					

## 3. 排泄(トイレ)

#### 6.トイレで体の向きを変えた時に転倒する



便座に着座しようと



手すりを持って体の向 きを変えたときに



ふらついて



転倒する

#### ポイント

急激な方向転換はバランス を崩しやすいので、手すりを 持ってゆっくり行うように指導し ましょう。

M	en	no
---	----	----

#### 7. 便座に座ったまま意識をなくし、転落する







意識を失い



前屈みになったまま



前のめりに転落する

トイレでいきんで排泄するこ とにより迷走神経反射で意識 消失してしまう場合があります。

#### Memo:

Mama:

#### 8.トイレで下着を上げ/下げ中にバランスを崩して転倒する



排泄後に



立ち上がり下着を上 げるが



バランスを崩して



転倒する

手すりをしっかり持って下着 の上げ下ろしするよう伝えま しょう。介助する場合も患者 さんが手すりをもって安定した 姿勢になってから下着を下ろ しましょう。

iC	• •		٠.																									
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	•

## 3. 排泄 (ポータブル)

#### 1.ベッドとポータブルの間に転落する



ベッドからポータブルト イレへ移乗中



ポータブルトイレをつかむ



体の向きを変えた時にバ ランスを崩し



ベッドとの間に落ちる

#### ポイント

患者さんが一人で移動しないようにあえてベッドから離した位置に置くことも対策の一つになります。

Memo:

#### 2.ポータブルトイレを使おうとして、後ろ向きに転倒



ベッドから降りてポータ ブルトイレをつかむ



体を回転させて腰を 下ろすが



ポータブルを後ろへ押すようにバランスを崩し



ポータブルトイレごと後 ろへ転倒

ポータブルトイレは軽いため 体重をかけることで転倒してし まいます。ポータブルトイレは身 体をしっかりとさせられるものに しましょう。

Memo:

#### 3.麻痺した下肢をポータブルトイレに引っかけて転倒する



ベッドから降り



ポータブルトイレに着 座しようとして



麻痺した下肢を引っ かけてしまい



バランスを崩して転倒

安全に移動ができるように 患者指導が大切です。リハビ リ部門と協力して指導に取り 組むと良いでしょう

Memo:

#### 4. 便座に座ったまま意識をなくす



便座に着座している



意識を失い



後ろ向きに崩れ



そのまま動かなくなる

トイレでいきんで排泄することにより迷走神経反射で意識 消失してしまう場合があります。

Memo:

## 4. 車いす(移乗)

#### 1.落ちている物を拾おうとして前屈みになり、頭から転落する



車いすに乗車中



床の物を見つけ背を 浮かせ



前屈みになるが



そのまま転落する

#### 2.体操中に前屈をしたら車いすから転落する



車いすでラジオ体操を している



前屈運動で体を前に 出しすぎ



そのまま車いすから前 方へ転落

#### 3.尿パックを取ろうとして転倒する



車いすに移乗し



尿パックを取ろうと前 屈し過ぎて



前のめりに転倒する

#### 4.起立しようとしてバランスを崩し転倒する



車いすに乗車中



背を浮かせる



手摺に手をかけて腰を 持ち上げるが



足の筋力低下で崩れるように転落する

#### 患者さんの身体能力のアセ スメントを行い必要時は介助 者を呼ぶように指導しましょう。

Memo:

#### 5.安全ベルトを外し、立ち上がり転倒する



車いすに乗車中



安全ベルトを外し



立ち上がるが



前のめりに転倒する

安全ベルトをしていても転倒 の可能性はあります。患者さ んを見守れる位置にいましょう。

Ν	1er	nc	):																							
•			-	 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### ポイント

前傾姿勢はバランスを崩して転倒しやすくなります。座ったまま拾える位置まで移動するように指導しましょう。または医療者を呼ぶように説明しましょう。

Memo:

フットレストに踵を乗せたまま の前屈は危険なため床に踵を 下ろして行うよう指導しましょう。

Memo:

車いす乗車時に前傾姿勢 になることで転倒リスクが高まり ます。患者さんに車いす乗車 時の注意点を説明しておきま しょう。

Memo:

## 4. 車いす(移乗)

#### 6.体がふらついて腰から落ちる



車いすへ移乗しようと



手すりをつかむが



体がふらつき



バランスを崩して転 倒

#### ポイント

移乗に不安のある患者さん のベッドサイドには車いすを置 かないことも一つの対策です。

Memo:

#### 7.車いすがベッドから離れていて、車いすをつかめず転倒する



車いすへ移乗しようと



手すりをつかもうとす スが



手が届かず



ベッドと車いすの隙間 に転落

移乗時の車いすの位置は大切です。車いすへの移乗方法 の指導とともに移乗しやすいように環境整備をしましょう。

Memo:

#### 8.手を滑らせてバランスを崩し転落する



車いすへ移乗しようと して



ベッドに手をついて立 ち上がるが



手が滑って



前に倒れ込み、転倒

患者さんの移乗動作能力 をアセスメントし移乗方法の 指導を行いましょう。

Memo:

#### 9.深夜、廊下にある車いすに乗ろうとして転倒する



看護師が車いすを病 室前に置くが



患者が一人で勝手に



車いすに乗ろうとして



転倒する

ひとりで動いてしまう患者さんは近くに車いすを置かないことも対策のひとつですが、アセスメントを行い転倒リスクの小さい方法を検討しましょう。

Memo:

#### 10.テーブル/ベッドを足で押し、後ろ向きに転倒する



ブレーキのかかった車 いすに乗車中



テーブルを足で押す



車いすが傾く



車いすごと後ろ向き に転倒する

予想外の行動をとる患者さんは一人にせず、必ず誰かが側にいるようにしましょう。 車いす転倒防止装置の使用も検討しましょう。

Memo	:
1 101110	•

## 4. 車いす (操作)

#### 1.車いすのブレーキをかけ忘れ、後ろ向きに転倒する



車いす乗車中



ブレーキをかけ忘れて



イスのつもりで立ち上が



後ろへ動いて転倒する

#### ポイント

ブレーキをかける手順を覚えられるまで見守り指導しましょう。 自動ブレーキ付車いすの使用も対策の一つです。

Memo	
טוווסויו	

#### 2.ブレーキかけ忘れ/ブレーキが甘く、バランスを崩して転倒する



車いすからベッドへ移 乗しようとして



ベッドに手をついて立 ち上がるが



車いすのブレーキのかけ 忘れて/甘くて



車いすが後退し、転 倒する

ブレーキがかかっているか確認するよう指導しましょう。ブレーキのかかりが甘くなることがあるので、適宜点検しましょう。

Memo:

#### 3.フットプレートに足をおいて立ち上がり転倒する



車いすに乗車中



立ち上がるが



フットプレートの上に足を 置いたままで



車いすが傾き、前のめりに

高次脳機能障害がある場合 注意障害や記憶障害のため車 いすを適切に操作できない場合 があります。車いす操作に不安の ある患者さんには1人で動き出さ ないように安全ベルトを使用する ことも対策の1つです。

#### Memo:

#### 4. 足をフットプレートと車いす本体に入れてしまい転倒する



車いすに乗車中



背を浮かせる



フットプレートの内側に足を置いてしまい



フットプレートに足をひっ かけて転倒する

フットプレートを必ず上げて立ち 上がるよう指導しましょう。一人で 動きだしてしまう場合は、安全ベ ルトの使用も検討しましょう。

ľ	le	er	n	10	

#### 5.移乗時に車いすのフットプレートと本体間に足を入れて転倒する



車いすに移乗しようと して



手すりをつかんで足を 出すが



フットプレートが下がって おり、本体との隙間に足 を入れてしまい



足がはまり、そのまま転 倒する

車いす移乗動作に不安がある患者さんの場合は1人で移乗しないようにベッドサイドから車いすを片づけることも対策の一つとなります。

Ме	m	<b>)</b> :																			
		-	 -	-	-	 -	-	-	-	-	 	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 1.プラットホームで寝返りして転落する



プラットホームに仰臥 位で寝ているところを PTより声かけがある



起きようとしたら



側臥位で止められず



そのまま床に転落

#### ポイント

いつでも患者さんの動作に対応できる位置にいましょう。

M	le	m	lC	)

#### 2.プラットホームで浅く座位して転落する



プラットホームに座って いる



浅く座ったために



殿部がずり落ち



転落する

## 安定して座っているか観察しましょう。

#### Memo:

#### 3.プラットホーム端座位で待機中に、体が傾き転落する



プラットホームの端に 座っている。



体が傾くが



腕で体を支えきれず プラットホームから転落す る

# バランス能力が低下していると、立ち直りが弱く不安定になります。目を離すときは、安定して座れているかを確認してからにしましょう。

Memo:

#### 4.背もたれのないイスに着座、そのまま転落する



背もたれのないイスに 着座中



バランスを崩して



崩れた方向に体が傾き



転落する

## 患者さん用の椅子は背もたれがあるものにしましょう。

Memo
------

#### 5.プラットホームから勝手に立ち上がり転倒する



プラットホームに着座している



PTが離れた隙に



患者が勝手に立ち上 がり



そのまま転倒する

目を離すときは、安定して座れているかを確認してからにしましょう。 また他のスタッフに声かけをしてから離れましょう。

Memo:		

#### 6.プラットホームで靴を拾おうとして転落する



プラットホームに座って



靴を履くために靴を拾 おうとして



体を前に出しすぎ



そのまま転倒する

#### ポイント

患者さんの能力に合わせた監視位置を取りましょう。

体が車いすの前方に移動することで転落する危険性が高まります。患者さんへ注意喚

起しておきましょう。

Memo:

Memo:

#### 7.車いす座位で靴を脱ごうとして前のめりに滑り落ちる



車いすに乗ったまま靴 を脱ごうとしている



前屈みになりすぎて



車いすから滑り落ちる

## 8.麻痺側や術側からプラットホームに移乗中に転倒する

# tula Company

車いすからプラットホー ムへ移乗しようとする



麻痺側や術側を先に 出してしまい



バランスを崩して転倒 する

#### 健側からの移乗するよう移 動方法の指導をしましょう。

Memo:

Memo:

#### 9.トランスファーボードで移乗しようとして転落する



プラットホームから車いす に移乗しようとして



トランスファーボードに乗 るが



途中でバランスを崩し



ボードから転落する

#### 滑りやすさを考慮して監視 する位置を考えましょう。

1	0	.起立練習で膝に力が入らず、	しりもちをつく
_	v		ひりひりせつ



起立練習で



立ち上がろうとするが



膝に力が入らず



しりもちをつく

_		
	最初は手すりなどを使用し	

た練習や座面を高くするなど

の、環境整備を検討しましょう。

Memo:											
	 	 	 	 	-	 	-	-	-	-	-

#### 11.大部分介助の患者が起立できず、しりもちをつく



大部分介助の患者がい



起立させようと腰を持ち 上げるが



起立のための筋力がなく



しりもちをついてしまう

#### ポイント

必要に応じて介助者を増や しましょう。介助ベルトの使用 や座面の高さを考慮しましょう。

Memo:

#### 1 2 .立位でステップ練習中に患側膝が折れてしりもちをつく



ステップ練習をしている



健側を前に出したが



患側で支えきれず



膝が折れてしりもちをつく

事前に筋力など下肢の支 持性を確認し、膝折れの可 能性がある場合は膝を押さえ る介助をしましょう。

Memo:

#### 13.立位でスクワット中に膝が曲がりすぎてしりもちをつく



立位でスクワット練習中



しゃがむが、膝が深く曲 がりすぎ



膝が折れて



しりもちをついてしまう

最初は軽く曲げるなど、アセ スメントした能力に応じて膝の 屈曲角度や介助量を調整し ましょう。

Memo:

#### 14.立位バランス練習(ボール等)でバランスを崩して転倒する



立位でキャッチボール中



①ボール/風船を投げた





②ボール/風船を受けた バランスを崩して転倒

患者さんの能力に応じて 安全が確保された環境(プ ラットフォームの前や平行棒の 内側)で行いましょう。

Memo:

#### 15.立位バランス練習(ボール等)でバランスを崩し転倒する



PTと互いにボールを 蹴っている



来たボールを蹴ろうと するが



バランスを崩して



後ろ向きに転倒する

患者さんの能力に応じて安 全が確保された環境(プラッ トホームの前や平行棒の内 側)で行いましょう。

M	e	m	lC	):																							
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

#### 16.片脚立位練習中にバランスを崩して転倒する









ポイント

バランスを崩しやすい練習で は、患者さんを支えられるよう に近くで監視しましょう。

立位練習中に

片脚を上げるが

バランスが取れず

転倒する

#### 17.マットから立ち上がり練習中、立ち上がれない









患者さんの能力に応じた方 法の指導をしましょう。

マットに座っている

手をついて立ち上がろ うとするが

腰を上げても膝に力 が入らず

立ち上がれない

#### 18.四つ這いバランス練習中、支えられず転落する









患者さんの能力に合わせた 監視位置をとりましょう。事前 にバランスを崩す可能性につ いて説明しておきましょう。

四つ這いで片下肢を上 げている

バランスが崩れたが

もう一方の手で状態を 支えきれず

斜め前方に頭部から転 落する

#### Memo:

Memo:

Memo:

#### 19.平行棒で歩行練習中に転倒する











不安定な場合はいつでも支 えられるように近位監視しま しょう。

平行棒で歩行線
習中

腕の力がなくて体が崩 れ出すが

PTが遠位監視で

転倒に間に合わない

#### 20.平行棒で歩行練習中に転倒する



平行棒で歩行練 習中



体が傾き出したので、



手を出して衣服をつ かんだが



間に合わず転倒した

不安定な場合は介助ベルト を使用することで軽減できる 場合もあります。

Memo	
1,161110	٠

Memo:

#### 21.平行棒で向きを変えようとしたときに、足がもつれて転倒する



PTと平行棒で歩行 練習中



端で体の向きを変えるが 足がもつれ出し



PTが遠位監視のため



転倒に間に合わない

#### ポイント

いつでも支えられるように近位監視しましょう。

Memo:

#### 22.後方歩行中に踵がつまずき後ろへ転倒する



PTと平行棒で後方 歩行練習中



踵が床につまずき



バランスを崩す



PTが手を出しても間に 合わず後方に転倒する

危険方向を予知し、介助位 置を取りましょう。

Memo:

#### 23.歩行練習中に話しかけられて転倒する



PTと歩行練習中



声をかけられ



注意がそれてしまい



転倒する

歩行中の会話は注意がそれ やすいので注意しましょう。 患 者さんの集中力を途切れさせ ないよう、リズムを取るなど声か けをしましょう。

Memo:

#### 24.体重が重く、支えきれずに転倒する



歩行練習中に



バランスが崩れたので



介助ベルトをつかん で支えたが



体重が大きく支えられ ずに転倒する

体重の重い患者さんは2人 介助や懸垂装置の使用など も考慮しましょう。

Memo:

-----

#### 26.練習終了後につまずきや膝折れで転倒する









装具をつけて練習後 の移動中に

つまずいたら

膝が折れて

前のめりに転倒する

#### ポイント

疲労は転倒リスクを高めます。 患者さんの疲労も考慮してリ ハビリを行いましょう。

Memo:

#### 27.練習終了あるいは移動中に血圧低下して転倒する







練習中/訓練後に

血圧が低下し

そのまま転倒する

#### 運動負荷量の調整と適宜 バイタルサインのチェックをしま しょう。

Memo:

#### 28.義足の膝が折れて転倒する









義足の膝折れは突然起こり ます。最初は平行棒や懸垂 装置を使用した練習を検討し ましょう。

義足で歩行練習中

義足の膝が折れ曲が

バランスを崩して

しりもちをつく

Memo:

#### 29.トレッドミル歩行練習中に、速度についていけず転倒する









患者さんに合わせた運動負 荷量と速度の設定を行いま しょう。

トレッドミルを使って歩 行練習中

下肢の動きとトレッドミ ルの速度が合わず

足がもつれて

膝をついて座り込んで しまう

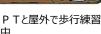
おおっ!

ありやりや!

Memo:

#### 30.屋外歩行練習中に段差やつまずきで転倒する







ちょっとした段差や



転倒してしまう

環境(道の状況など)の 変化を患者さんへ声かけしな がら実施しましょう。

М	er	n	<u></u>	
1.1	CI	11	U	

#### 3 1.スロープ歩行練習中に、膝折れして転倒する









#### ポイント

下りは膝折れしやすいので 事前に説明しておきましょう。 患者さんの能力に合わせた監 視位置をとりましょう。

スロープ	Fり歩行練習を
している	

膝折れして

こらえきれず

転倒してしまう

#### Memo:

#### 3 2.段差昇降練習中に膝が折れてしりもちをつく









アセスメントした能力を考慮 し、不安定な場合は介助べ ルトを使用しましょう。

動作手順の説明をしましょう。 また、いつでも患者さんを支え られる位置で監視しましょう。

段差昇降で

昇段中に

膝が折れて

しりもちをつく

#### Memo:

#### 33.段差昇降練習中に、健側から降段しようとして転倒する



段差昇降練習で







Memo:

降段中に

健側の足を出すが 患側が支えきれず

座り込む

#### 34.松葉杖で階段昇降練習中にバランスを崩して転倒する









正しい手順は

「①健側下肢→②松葉杖」 です。

事前にお手本を見せるのも 効果的です。

松葉杖から昇段して しまい

足を上げようとする

後方にバランスを崩し

転倒する

Memo:

#### 3 5.初めての段差昇降練習中つま先が段差にぶつかり転倒する



段差昇降練習中



昇段中に

つま先が段差にぶつ かり



前のめりに転倒する

初めて行う場合は足が持ち 上げられるか評価をしましょう。

Memo	
1,161110	

## 6. 看護援助

#### 1.ふらついて、もたれかかられて一緒に転倒する



立位患者の更衣介 助で



患者がズボンを履こう としたところ



ふらついて倒れかかっ てきたが



支えきれず一緒に転 倒する

#### ポイント

片足立ちではバランスを崩してしまいます。ベッドに腰かけて 片足ずつズボンを履くようにしましょう。

Memo:

#### 2.支えていたが支えきれず、一緒に転倒する



歩行練習中に



患者の腕を支えてい



ふらついて倒れかかっ てこられ



支えきれず一緒に転倒する

患者さんと介助者の体格差が大きいと支えることは困難です。 ふらつきがみられた際は立ち止まりバランスを修正しましょう。

Memo:

#### 3.興奮のため近位監視していたら転倒した



歩行介助で



支えようとすると興奮 するため



近位監視していたが



バランスを崩して転倒 した

#### 興奮していたら歩くのはやめ て腰かけて頂くよう誘導しま しょう。

Memo:

#### 4.車いす移乗介助時に患者が転落する



移乗時に



介助するが



患者が動き出し/重なぎて



転落する

# 両脇を抱えて介助せず前後から介助し後ろに立った介助者が車いすを腰かけやすい位置へ移動させましょう。

Memo:

#### 5.スロープで急に人が出て、慌てて止めるが搭乗者が落ちる



緩いスロープを下る



急に前に人が出てく



介助者が急に車いすを 止める



搭乗者が前のめりに 落ちる

スロープでは後ろ向きで降りる方法が基本です。また急に車いすを止めても患者の重心が前に傾かないようゆっくりした速さで車いすを押しましょう。

1	М	e	m	าด	):																									
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 6. 看護援助

#### 6.コールされていたが、向かうのが遅れ転倒する



患者の処置中に



コールがあったが処置 が終わらず



急いで向かったが



転倒していた

#### ポイント

コールに対して必ず受けたことの返答をしましょう。対応に時間がかかり訪室が遅れる場合は同僚に応援を求めましょう。

Memo:

#### 7.声かけして離れるが、戻ったら転倒・転落していた



トイレ介助中



他室コールで声かけし て離れた



急いで戻ってきたが



間に合わず転倒していた

離れても大丈夫か否か判断することも大切です。 見守りが必要と判断した場合は他室のコールを同僚に依頼するか見守りを交代してもらいましょう。

Memo:

#### 8.トイレ前で待っていたら、転倒・転落していた



検査/訓練前にトイレを済ませる



トイレ前で待っていた



コールなしで物音がし た



ドアを開けると転倒していた

排泄時の物音に注意しタイミングをみてカーテン越しやドア越しに声をかけ安全を確認してみましょう。

Memo:

#### 9.説明が伝わらず転倒・転落する



トイレ介助中



コールの声かけをする が



聴力障害・認知症/ 健忘症で理解できず



勝手に立ち上がり転 倒する

説明しても理解できない患 者さんの場合は側を離れず見 守りましょう。

Memo:

#### 10.患児のオムツ替え時に転落する



柵を下げて



母親がオムツを替えている



オムツを片付けようと目を離した隙に



動き回ってベッドから転 落する

目を離す際は必ずサークル ベッドの柵を上げるよう付添い の方に繰り返し説明しましょう。 (患児が動き回っていても、 静かにしていても)

Μ	e	m	nc	):																									
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

## 6. 看護援助

#### 11.直ぐに見えなくなったので、気になって訪室する







突然患者が消えた



不自然だったので訪 室すると



患者が転倒していた

#### ポイント

早期発見することで重症化 を防止することにも繋がります。 「気づき」を大切に実際を観 察してみましょう。

M	e	m	10	

#### 12.ドアから/窓から/カーテンのすきまから転倒・転落を見つける



廊下移動中に



何気なく病室を覗い



床に患者の足の一部 が見えたので



対応する

小さな発見を見過ごさず実際を観察することが大切です。

#### Memo:

#### 13.訪室時、発赤/擦過傷が見られたので問いかける



担当患者を訪室する



発赤/擦過傷が見ら れたので



気になって問いかける と



転倒がわかった

いつもと違う変化には必ず何か原因があるものです。ゆっくり問いかけ患者さんからの語りを引き出しましょう。

Memo:										
	 	 	 	 	-	 -	-	-	-	-

## 7. 検査(移動・移乗)

#### 1.胸部撮影で転倒する



車いすでレントゲン室 へ移動中



立ち上がれたので



胸部撮影の手すりを つかませたが



転倒してしまった

#### ポイント

しっかり手すりにつかまりふら つきがないことを確認してから 介助の手を放しましょう。

#### 2.ストレッチャー移乗時に患者が転落する



ストレッチャーから



検査台に移乗させよ うとするが



患者が動いてしまい



転落する

#### 体重のある患者さんの移動 の際は体の下にバスタオルなど を敷き左右2人づつ4人以上 でバスタオルを持って行いま しょう。

#### Memo:

#### 3.ストレッチャー移乗時にストッパーが甘く患者が転落する



ストレッチャーから



検査台に移乗させるが



ストッパーのかかりが甘 くて



ストレッチャーが動き 転落する

#### ストレッチャーを停止させる 際はストッパーをしっかり掛け、 動かないか確認しましょう。 患 者さんがストレッチャーに乗って いる時は常にサイドバーを上げ ておきましょう。

#### Memo:

Memo:

#### 4.ストレッチャー移乗時に患者が転落する



移乗時に



サイドバーが下がって おり



患者が勝手に動き出してしまい



転落する

患者さんから目を離す際は、 ストレッチャーのサイドバーを下 げず、また移乗する側に隙間 をつくらないようにしましょう。

Memo:	

#### 5.ストレッチャー上で処置時に患者が転落する



ストレッチャー上で処 置中



体交しようとしたときに



患者の体が動き



患者が転落してしまう

側臥位で体を向ける側のサイドバーを下げたまま実施することは危険です。必ずサイドバーが上げられていることを確認してから実施しましょう。

Memo:													

## 7. 検査(移動・移乗)

#### 6.緊急入院で患者状態が把握できず、転倒してしまう



救急車で運ばれて入



患者状態わからず





処置準備で離れた隙

患者が動き転落する

Memo:

#### ポイント

全身状態の観察ができるま では救急隊員などの協力を 得て患者さんを一人にしない ようにしましょう。

7	.検査台から車いす移乗時に患者が転落する
/	「快旦ロルク半いり炒米吋に芯石が知冷りる



検査台から







患者の体重があり/

車いすに移乗させよう とするが 手が滑って/持ち方 が悪く/動いてしまい

転落する

検査台の近くに車いすを設 置し患者さんの両下肢を床に 着け体重を分散させてから介 助しましょう。

 	 	 	-	 	-	 -	-	 	-	-

#### 編集•制作者

#### 足利赤十字病院

相澤 香代子 (医療安全推進室 医療安全管理者 看護師長)

前原恵 (医療安全推進室 看護係長)

渡邉 洋昭 (リハビリテーション技術課 理学療法士 係長)

北岡 清吾 (リハビリテーション技術課 理学療法士)

嶋田 久美子 (看護部 看護師長) 中山 千穂 (看護部 看護師長)

#### 株式会社 ケアコム

山田 昌利 (第二地域統括グループ マネージャー) 石川 富雄 (環境整備支援ユニット)

#### 株式会社 ケア環境研究所

永松 英示

患者安全 あるあるシリーズ 1

## 転倒・転落あるある事例集

編集 足利赤十字病院

制作協力 株式会社 ケアコム

2016年 9月 第1版第1刷 発行

この事例集の著作権は、足利赤十字病院と株式会社ケアコムにあります。 よって、この事例集のイラスト、文言、写真、印刷などの全部又は一部を権利者の許諾なく複製、複製の配布、 無許可の使用や、インターネット等を通じて閲覧できる状態にすることは、法律で固く禁じられています。